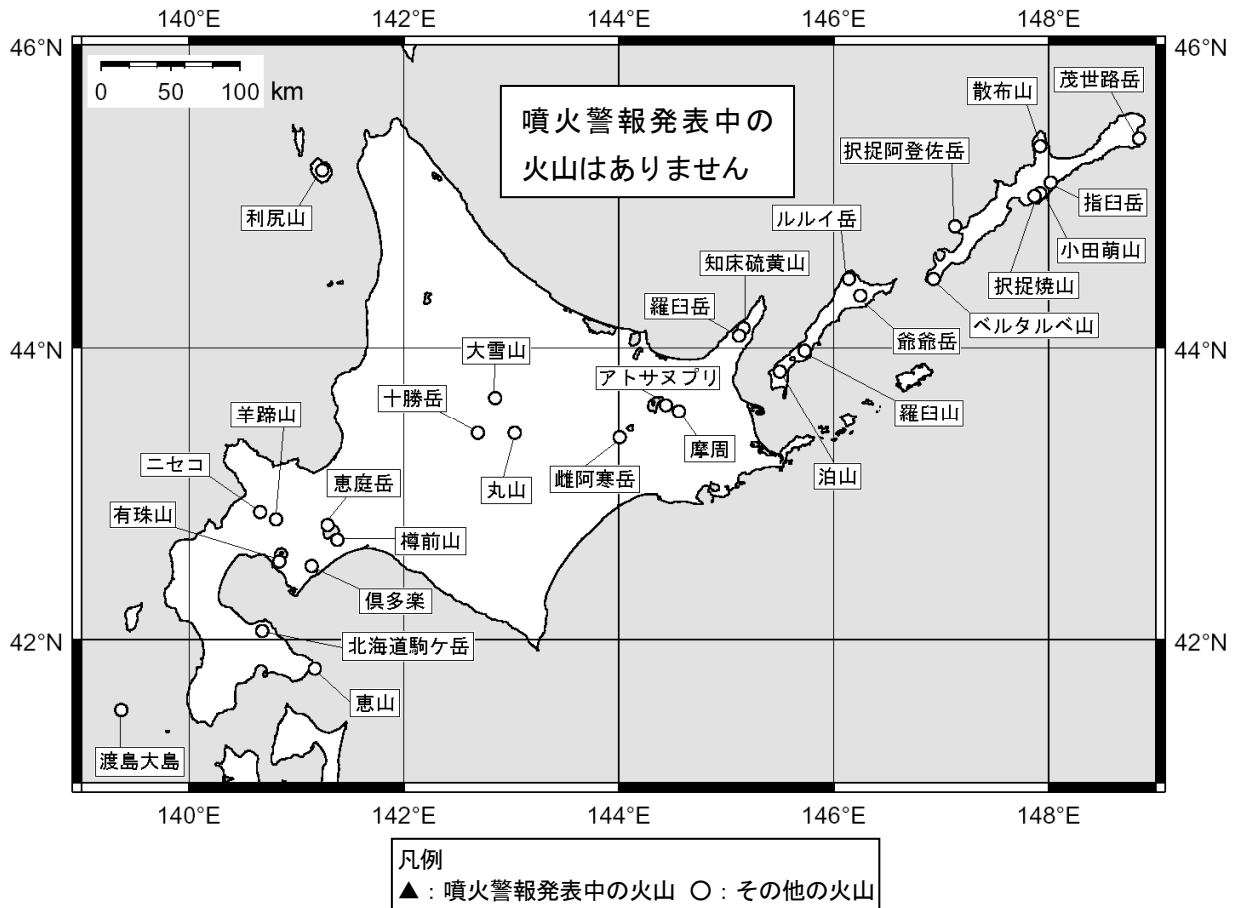


管内月間火山概況（平成 20 年 1 月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況

- 噴火警報 : 該当火山なし
- 噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常） : 樽前山、北海道駒ヶ岳
（平常） : 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、雌阿寒岳、丸山、大雪山、十勝岳、利尻山、恵庭岳、倶多楽、有珠山、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.sapporo-jma.go.jp>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 20 年 2 月分）は平成 20 年 3 月 6 日に発表する予定です。

この資料は気象庁の他、北海道開発局、北海道大学、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道、北海道立地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

各火山の活動及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

雌阿寒岳〔噴火予報（平常）〕

9日から10日にかけて体に感じない程度の小さな火山性地震が多発しました。その後減少したものの、地震多発以前の状態には戻っておらずやや多い状態が継続しています。今後の火山活動に注意する必要がありますが、現在、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

十勝岳〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

樽前山では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

山頂火口原内の溶岩ドームのA火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていると推定されます。溶岩ドーム及びその近傍では、火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要です。

倶多楽〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

有珠山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

恵山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。